

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (藤田 宜久)	内線	4389 (4399)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約3.5億円
		特定交通安全施設等整備事業 (一) 浜甲子園甲子園口(停)	西宮市甲子園二番町 ~六番町	うち用地補費	-
所在地				着工予定年度	完成予定年度
西宮市甲子園				平成17年度	平成19年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・ ”つくる” から ”つかう” の観点から自転車交通量の多い当該道路空間を見直し、既設歩道について自転車利用空間の明確化を図り、くわえてセミフラット化による歩道の段差解消を図ることで、交通安全対策を推進する。	歩道整備(歩道のリニューアル・両側) L = 1, 500m 1工区 L = 800m W = 7.0(両側) 2工区 L = 700m W = 2.5(片側) W = 7.0(片側) (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車15,356台/日、歩行者2,682人/日、自転車3,966台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(52件)が多い。 ・死傷事故率(232人/億台km) ・市街化区域内であり、周辺には、阪神甲子園駅(乗降客数50,008人/日)、JR甲子園口駅(乗降客数38,334人/日)、阪神甲子園球場(年間入場者数約300万人)があり、沿道には人家や商業施設が建ち並ぶなど多様な利用状況にある。 ・あんしん歩行エリア(西宮鳴尾地区)内の事業であり、外縁道路に位置づけられている。 ・交通バリアフリー重点整備地区(JR・甲子園口駅周辺地区、阪神・甲子園駅周辺地区)を結ぶ路線に位置する。 ・連続性の確保(前後の整備状況・・・起点 阪神甲子園駅付近、終点国道2号接続ともに整備済み) ・1工区については、色彩分離による自転車利用空間の明確化を図り、自転車利用者と歩行者の輻輳による事故の抑制を図る。 ・2工区については、既存の植樹帯幅員を活用し、歩道幅員を拡幅することで、安全な歩行空間の形成を図る。 ・既存で整備された県道甲子園尼崎線などの自転車利用空間を活用し、西宮市における自転車利用空間のネットワーク化を推進していく。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化推進計画における事業実施区間であり、占用者と合意形成が整っている。 ・歩道部に透水性舗装、車道部に排水性舗装の採用による道路交通環境の改善に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降客数の多い阪神甲子園駅、JR甲子園口や甲子園球場など多数の商業、公共利用施設が存在する位置にあり、自転車交通量が非常に多いことから、自転車・歩行者の輻輳による事故が懸念される。 ・無電柱化推進計画における事業区間であり、一体的な事業を行うことで、自転車や歩行者が安心して利用できる空間再生が図れる。